

ときわ交配

# レーヴ

つる下げ栽培で長期穫に対応、収量性・果形の安定性に優れる

## 適作型

9月～10月まき

## 特性

- ウドンコ病、かっぱん病に強く、べと病にも比較的強いため、薬剤散布が軽減でき、栽培後半まで安定した栽培が行える。
- 草勢は中、側枝、孫枝とも安定して発生する。
- 果実肥大はスムーズで、樹ボケの心配は少ない。また低温下においても順調に果実肥大し、果形の安定性にも優れる。
- 主枝雌花率は、9月播種で50～60%、各節1～2果成りが主体となる。側枝は、適度な連続着果となり安定した収量となる。
- 果実は21～23cmで、果色は極濃緑、肩こけ少なく秀品率高い。
- 葉は濃緑で中葉、受光態勢の良い草姿となり、管理作業が行いやすい。

## 栽培の ポイント

- ①台木は、ぞっこん、ときわGT-IIが適する。
- ②灌水は多めにおこない、追肥は遅れないようにする。

“作る”を感動に変える、おいしさを届けて60年。



株式  
会社

ときわ研究場